

平成26年度 大館市立矢立中学校 学校評価書(前期) 年度)

A 学校教育目標

ともに学び心豊かでたくましく行動力のある生徒の育成

B 本年度の重点目標

- 1 ふるさとキャリア教育を通して、ふるさとを思う、志と自立の気概を持った生徒を育てる
- 2 学び合う生徒主体の授業を通して、確かな学力の定着を図る
- 3 学校評価を機能させ、課題解決を図り目標の具現化を図る
- 4 互いに高め合う職員研修の充実させる
- 5 地域と共に歩み、地域の元気の源となる学校づくりを図る

C 学校経営の特徴

- 1 英知 Wなぜからのスタート 感じる心、好奇心、想像する心
自分の考え(問い)をもち表現できる生徒(ともに学ぶ)
- 2 友情 ともに一歩前進 目標、共感、相互評価、学び合い
志をもち、互いに高め合うことができる生徒(心の豊かさ)
- 3 気力 体力 自立の気概 自分の足で立つ、あきらめない心
粘り強く最後までやり通すことができる生徒(たくましさ)

地域に支えられ、地域に貢献できる子どもたち



矢中太鼓指導



植菌指導



クリーンアップ



保育所夕涼み会



運動会で子どもたちと地域が一体となったフォークダンス



大北総体野球大会での地域応援団



菊のお世話



運動会ムカデ競走

D 評価

| |
|-----------|
| ア |
| 生徒の 状況 |

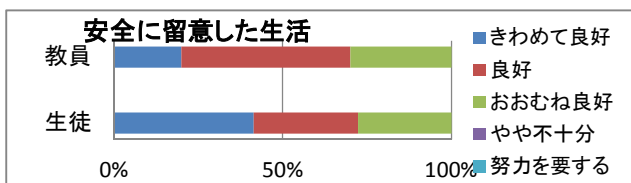
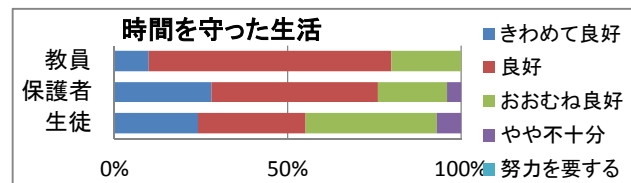
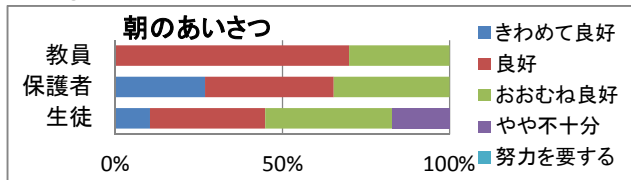
| | | | | |
|-----------------|---|------------|-----------------------|---|
| 自己評価Aと外部評価の評価区分 | きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する | 自己評価Bの評価基準 | 5 4 3 2 1 | 実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成 |
|-----------------|---|------------|-----------------------|---|

I 自主的・自立的な生活

| 児童生徒の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|---|---------|--|
| 明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感をはぐくもうとしている。 | 前期 おおむね良好 年度 | 良好 | 三校交流の中で、中学生の元気の良さが目立っているようです。矢中生の挨拶に元気を感じていましたが、統合にあたり臆せず日々元気な挨拶を心がけていただきたい。校内において、自主的に生徒達が大きい声で挨拶出来るような環境に育っています。 |
| と自学 己校評 の価 改の 善概 策要 | 【前期(→年度)】地域の方々から、「校外で会っても中学生がきちんとあいさつしてくれる。」と言われ、挨拶をする習慣が身に付いてきたと感じる。また、上級生の落ち着いた生活を肌で感じながら、下級生も見習っている様子である。さらに、様々な活動において、自ら進んで取り組む姿勢が表面に表れてくることを期待したい。 【年度(→次年度)】 | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B 前期 後期 |
|-------------|--|---|----------------|
| ①基本的な生活習慣 | あいさつと礼儀を大切にする態度 時間をまもる、身だしなみを整える、身の回りの整理 校内外の安全・安心な生活をしようとする態度 | 朝のあいさつ運動、集会や授業時の元気なあいさつ、学び合いの礼義 5分前行動、ロッカー内教具の整理、机かばん内の整理 街頭指導、通学状況観察と指導 | 3 |
| ②一人一人のよさの伸長 | 一人一人のよさを引き出し伸ばす 生徒理解を通したいじめや問題行動の未然防止 教育相談を通した生徒理解と悩みの解決 | 学級経営 学習指導 生指特活 いじめ調査(3回)、人間関係把握(3回)、いじめ不登校対策委員会の実施 学担、SCの教育相談、自己理解の学習(学活) | 4 |

【①に関連するデータ】

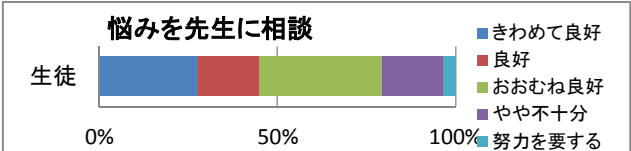
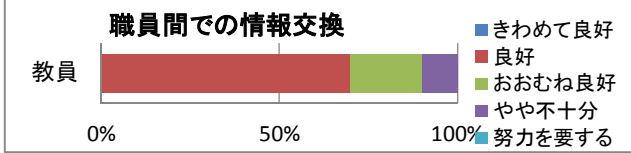
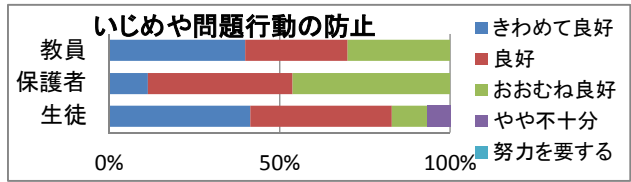
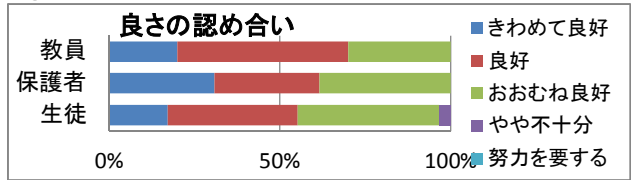


「あいさつ」について

あいさつについては回答者によってひらきが見られる。

校内において、生徒達はあいさつをととてもよく頑張っていると思う。しかしながら、三校交流会で大館二中の生徒と比較すると、まだまだ鍛えていかなければと教員は感じていると思う。さらに、大きな声ではっきりとあいさつできるように声かけが必要である。

【②に関連するデータ】

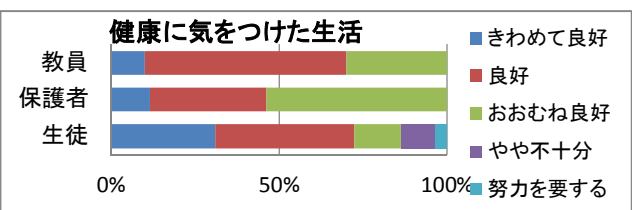
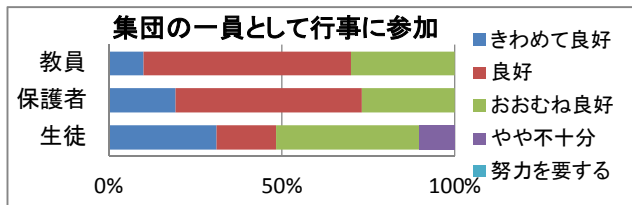
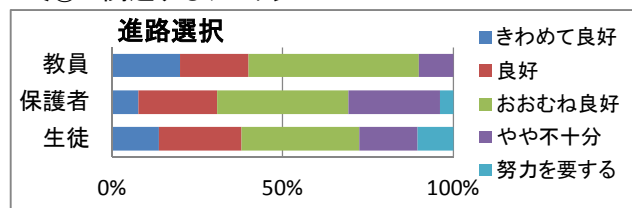


Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

| 児童生徒の状況 | | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|--|--|-------|---------|--|
| 互いに認め合い、共に支え合いながら豊かな人間性をはぐくみ、自分の将来を見据えて、自立した生活を送ろうとしている。 | 前期 | 良好 | 良好 | 菊プロジェクト等を通じて、地域の交流を協力的に進めています。生徒達も菊祭りに向けて自主的に取り組んでいるようです。菊祭りを楽しみにしています。矢中生は、自分達の学校が好きなようですので、また、地域の人達にも感謝されています。お互いに、今後とも思いやりの気持ちをもって頑張ってください。 |
| | 年度 | | | |
| と自己校評の価改の善概要 | 【前期(→年度)】高齢者を元気づけることをねらいとした菊プロジェクト、校内外でのボランティア活動などにたいへん熱心に、協力的に取り組んでいる。また特別活動と道徳、総合的な学習の時間を関連づけて運用し、学習効果が上がってきていると思われる。進路学習は「全校進路学習強調期間」を設けたり、大館市子どもハローワークの活動に参加を促したりすることで、生徒が自分の将来についてより具体的、主体的に考えることができるように、支援をしていかなければならない。 | | | |
| | 【年度(→次年度)】 | | | |

| 評価指標 | 実践課題 | | 自己評価B | |
|------------|---------------------|--------------------------------------|-------|----|
| | | | 前期 | 後期 |
| ③志と自立の気概 | 自己を見つめ将来の生き方やあり方の追究 | 地域学習、職場見学、職場体験、菊プロジェクト、キャリアの記録、道徳ノート | 4 | |
| | 特別活動(学校行事、生徒会活動)の部分 | ボランティア活動、菊プロジェクト | | |
| | 特別活動(学級活動)の部分 | 朝・帰りの会、学級会で 学級活動で | | |
| | 心身の健康に留意した生活 | 保健体育、人間関係作りのエクササイズ | | |
| ④活力ある学級づくり | 目標に向かってともに高め合う学級 | みんなが一步前進する目標や活動毒理の実施と実行 | 4 | |
| | 温かい人間関係の構築 | 相互に理解や共感を深める機会の設定 | | |

〔③に関連するデータ〕

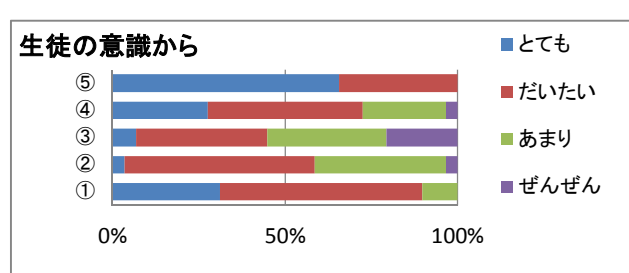
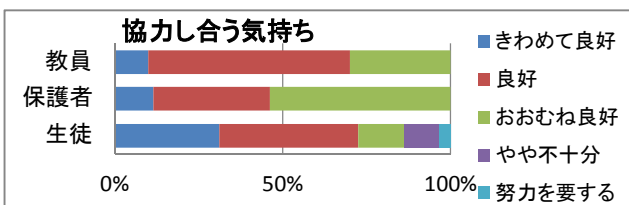
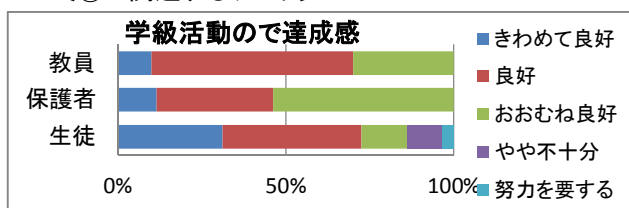


◇菊プロジェクトについて

昨年度から始めた「菊プロジェクト」は、地域の方の好評を得て、今年度は本格的な「3本立て」の菊づくりに挑戦するなど、さらに改善を加えて取り組んでいる。また、菊づくりの指導者を始め、地区の児童民生委員の方の協力といった、人の輪の拡大と、結びつきの強さに生徒が支えられている。

生徒と地域の方との接点として、今年も「菊のオーナー制」を取り入れている。オーナーの募集については昨年度は白沢地区の方を対象としていたが、今年は矢立地区全域から募り、80余名の方のご参加が得られている。11月の「菊祭り集会」には、地域の皆様をお招きして中学生の元気を地域にお返ししたいと考えている。

〔④に関連するデータ〕



- ① 学校が好きだ
- ② 勉強が好きだ
- ③ 自分にはよいところがある
- ④ 将来の夢や目標がある
- ⑤ 人の役に立つ人間になる

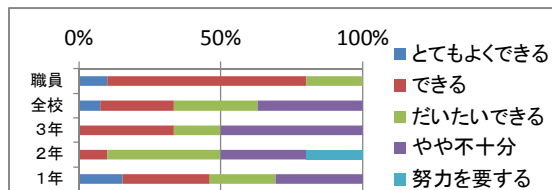
Ⅲ 基礎学力

| 児童生徒の状況 | | 自己評価A | 学校関係者評価 | 外部評価委員のコメント |
|---|---|--------|---------|---|
| 基本的学習習慣を身に付け、意欲的に授業に取り組み、学力を向上させようとしている。 | 前期 | おおむね良好 | 良好 | 各学年の授業を見ると、生徒みんなが手を挙げ発表しています。職員のアンケート結果を見ると、先生自身厳しい評価をしておりますが、生徒達の学習の意欲は高まっていると思います。学習への取り組み姿勢が確立して、家庭学習や授業中の自分の考えを発表し、高めることが出来るようになってきた。 |
| | 年度 | | | |
| 学 校 自 己 の 評 価 改 善 の 策 の 概 要 と | 【前期(→年度)】各学年通信で週末の課題を家庭にも通知するなど、学習習慣の確立に向けて取り組んだ結果、生徒の基礎学力は向上してきている。授業においては、生徒どうしが相互に考えを交流し合える学習活動の充実に取り組んでおり、その実践を通してさらに主体性や表現力を高めていきたいと考えている。 | | | |
| | 【年度(→次年度)】 | | | |

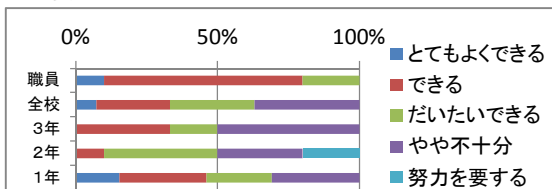
| | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|-------------------|------------------------------|-----------------------------|-------|----|
| | | | 前期 | 後期 |
| ⑤学習への取り組み | 基本的な学習態度及び習慣の確立 | 「学習の約束」の徹底、学習点検カードの活用 | 3 | |
| | 自主的に学習ができる | 家庭学習の指導の徹底。自学ノートの活用 | | |
| ⑥主体的に考え、表現する力を育てる | 問いかけ(発問)と学習問題(課題)の提示と対応するまとめ | 授業記録とその振り返り | 3 | |
| | 意欲や達成感を高める評価 | 評価問題の継続実践 | | |
| | 主体的に自己の考えや思いを表現する場の充実 | 5つの言語活動の授業実践、学び合いの実践(教科、道徳) | | |

⑤について《生徒・職員アンケート結果》

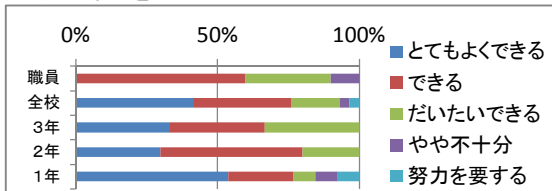
授業前の学習



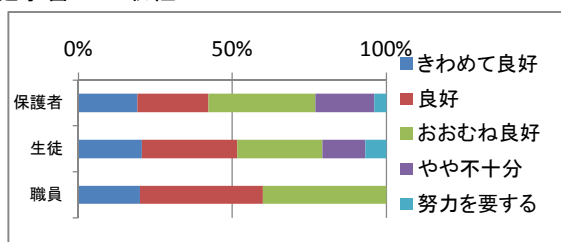
授業中の姿勢



自分なりの考えをもつ

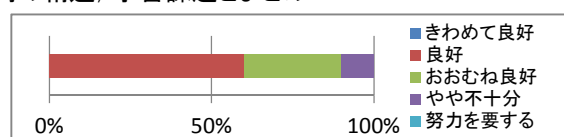


家庭学習への取組

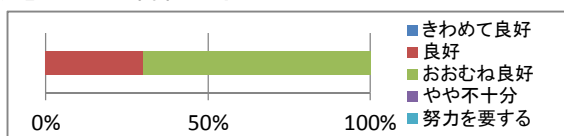


⑥について《職員アンケート結果》

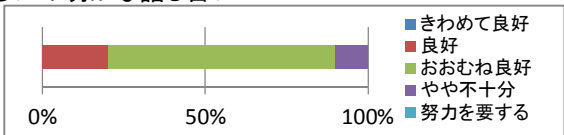
発問の精選、学習課題とまとめ



達成感がもてる評価の手立て

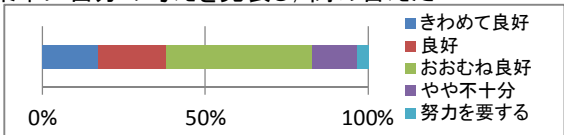


ねらいの明かな話し合い

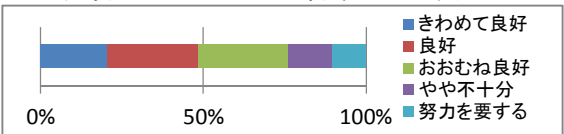


⑥について《生徒アンケート結果》

授業中に自分の考えを発表し、高め合えた



友だちの発言にハンドサインや言葉で意思表示



イ
学校運営
の状況

| | | | | |
|-----------------|--------|------------|---|--------------------------------|
| 自己評価Aと外部評価の評価区分 | きわめて良好 | 自己評価Bの評価基準 | 5 | 目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著 |
| | 良好 | | 4 | 目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる |
| | おおむね良好 | | 3 | 目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる |
| | やや不十分 | | 2 | 目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない |
| | 努力を要する | | 1 | 目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い |

IV 教師の研修

| 児童生徒の状況 | | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|--------------------------------|------------|---|---------|---|
| 実践的研修会を通して、共に高めあう教師集団が構築されている。 | 前期 | 良好 | 良好 | 職員の各種研修会参加により成果がでている。生徒の学習の向上のためにも、さらなる努力を希望します。職員の研修面については、授業研究会や職員会議での研修報告など、生徒のために懸命に取り組んでおり、高度な学校運営がうかがわれる。 |
| | 年度 | | | |
| と自己評価の改の善概要 | 【前期(→年度)】 | 「生徒主体の授業の構築」という方向性を全職員で確認し合い、その効果的な手法について、授業研究会や職員会議での話し合いを通じて研修を重ねてきた。互いの授業を参観しあうことも、短時間から1時間の参観とすることで効果があがっている。今後も職員会議等を活用して、校内のみならず校外での研修成果の共有化も図っていきたい。 | | |
| | 【年度(→次年度)】 | | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|-------------------|------------------------|---------------------------|-------|----|
| | | | 前期 | 後期 |
| ⑦研修の実施及び活用 | 校内研修会及び各種研修会への参加 | 校内研修会や各種研修会を通して自己研修を深める工夫 | 4 | |
| | 研修成果の共有と研究の具体的方策徹底の工夫 | 校内研修会、職員会議の活用 | | |
| ⑧授業力向上のための授業研究の推進 | 小中の日常的な授業交流と授業参観 | 小学校との授業交流の実施と授業改善 | 4 | |
| | 授業点検、評価を生かした授業力向上の取り組み | 授業記録とその振り返り、評価問題の継続実践 | | |

⑦について 《校内研修会》

- (4月) 第1回 研究の全体計画について (7月) 第5回 職員研修会(学習の約束・指導の約束)
 (5月) 第2回 各教科のテーマと重点事項について (8月) 第7回 職員夏季研修会(生徒指導)
 (6月) 第3回 NRT分析について
 (7月) 第4回 授業研究会(国語)

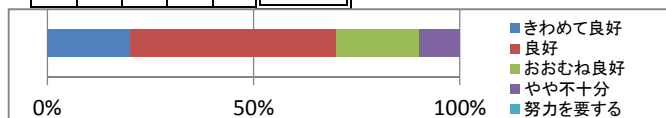
《授業交流について》

第1回小・中授業交流週間に実施

《職員アンケート結果》

○ 校内外の研修に積極的に参加しましたか

| | | | | | |
|--------|----|--------|-------|--------|-----|
| きわめて良好 | 良好 | おおむね良好 | やや不十分 | 努力を要する | 平均 |
| 2 | 5 | 2 | 1 | 0 | 3.8 |



○ 校内研修会での研究内容を理解し、日々の授業で実践していますか

| | | | | | |
|--------|----|--------|-------|--------|-----|
| きわめて良好 | 良好 | おおむね良好 | やや不十分 | 努力を要する | 平均 |
| 1 | 5 | 2 | 2 | 0 | 3.5 |

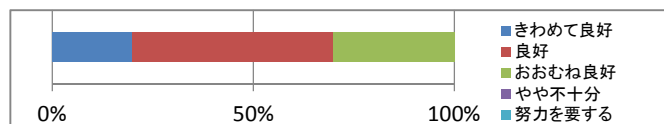


⑧について (5月)小中連携部会の実施

(7月)小中授業交流週間の実施

○小・中の授業交流を授業改善に生かしましたか。

| | | | | | |
|--------|----|--------|-------|--------|-----|
| きわめて良好 | 良好 | おおむね良好 | やや不十分 | 努力を要する | 平均 |
| 2 | 5 | 3 | 0 | 0 | 3.9 |



<指導の約束>(学習の約束と対応して)

- 事前指導の徹底
 - その都度、声かけ、互いに尊重し合う姿勢
 - 生徒がしっかり応答する発問(確かな問いかけ)
- 生徒の学習活動が分かる板書
- ねらいや見通しを明確に
 - 対応するまとめや評価を確実に
 - 感じたい考えたりしたくなるような教材等の適切な提示
 - 想起や振り返りの手助けとなる板書やカードの準備
- (考えるためには言葉が必要)

○分かる説明を

(言葉だけの説明をせずに板書や教材を示しながら話す)

- 「ともに学ぶ」ことの意義や目的の理解を促進する
 - 「伝え合い」「話し合い」場面を設定し、話し手、聞き手の指導と主体として考える力の育成
- 全体での話し合い
- 互いの発言や意見への意思表示をさせる
 - 最後まで話し、単語だけの会話にならないように
- ペアでの話し合い
- 音読、会話練習、インタビュー 国語・英語
 - 操作する生徒、評価する生徒
- グループでの話し合い
- 話し合いのねらいの確認
 - 自分の考えをかかせる
 - 互いに考え等を説明させる
 - 考え等を広げる、しぼる、まとめる

イ 学校運営の状況

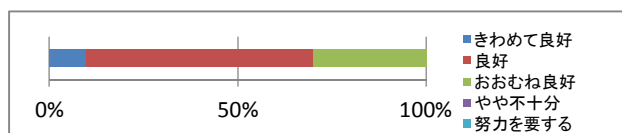
V 組織運営

| 学校の状況 | | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|--|---|------------|---------|--|
| 特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。 | 前期 | おおむね 良好 | 良好 | 昨年度の課題をクリアし、効果を上げていることから、更に調整すべきことがあれば工夫を重ねてほしい。特色ある組織運営の中で、外部指導者を多く取り入れている。 |
| | 年度 | | | |
| 学 校 自 己 の 評 価 改 善 策 の 概 要 と | 【前期(→年度)】 昨年度課題を残したドリルの実施について、年間の計画通りに進められるように、実施時間の確保に留意するとともに、効果を引き出すために、内容にも工夫を加えた結果が、アンケートの数値に表れていると考える。また、日々の指導の反省点を、できるだけ早く改善に生かすために、日程変更の回数が増えているが、そのことで職員への連絡の遅れや不徹底を生じさせてしまった。これらを解消するために変更の確認と周知の徹底に努めたい。 | | | |
| | 【年度(→次年度)】 | | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|-------------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------|----|
| | | | 前期 | 後期 |
| ⑨学校の明確な運営 | 経営方針・重点施策の明確化と評価の活用 | 学校経営概要の明示、学校経営評価計画の提示 | 3 | |
| | 分掌の明確化と共通理解を図った組織的な取り組み | 校時表の変更、時間割の調整、月予定・週予定定期的な調整 | | |
| ⑩小中連携と個に応じた指導の充実を図る教育課程の編成と実施 | 小中連携を可能とする教育課程の編成と連絡調整 | 生徒の実態に応じたTTの実施、授業外の補充的な学習時間確保 | 4 | |
| | 基礎・基本の定着を目指した教育課程の編成と運用 | 家庭学習の充実のための学年だよりの活用 | | |

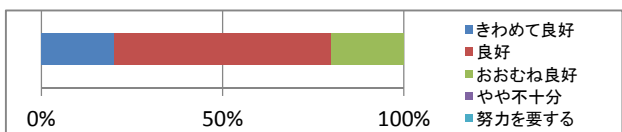
今年度の経営方針や重点事項を理解し実践していますか。

| きわめて良好 | 良好 | おおむね良好 | やや不十分 | 努力を要する | 平均 |
|--------|----|--------|-------|--------|-----|
| 1 | 6 | 3 | 0 | 0 | 3.8 |



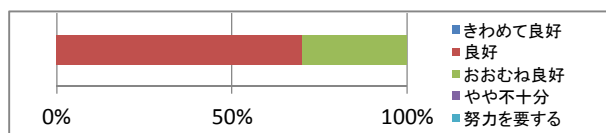
授業や帰りのドリルなどの時間配置、TTの配置は生徒の実態に即して適切に行われていますか。

| きわめて良好 | 良好 | おおむね良好 | やや不十分 | 努力を要する | 平均 |
|--------|----|--------|-------|--------|----|
| 2 | 6 | 2 | 0 | 0 | 4 |



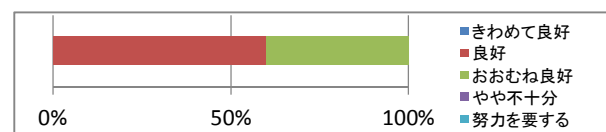
学校目標の具現化に向けて各分掌は重点事項に取り組んでいますか。

| きわめて良好 | 良好 | おおむね良好 | やや不十分 | 努力を要する | 平均 |
|--------|----|--------|-------|--------|-----|
| 0 | 7 | 3 | 0 | 0 | 3.7 |



小中授業交流のための調整が確実に行われ、週予定などで明確に示されていますか。

| きわめて良好 | 良好 | おおむね良好 | やや不十分 | 努力を要する | 平均 |
|--------|----|--------|-------|--------|-----|
| 0 | 6 | 4 | 0 | 0 | 3.6 |



TT、外部指導者の実施状況

数学：1・2・3年生 理科：1年生 英語：1・2年生 技・家：2年生

理科：教育専門監による指導

体育(武道)：1・2・3年生(鳳鳴高校 田山先生)

家庭(裁縫・調理)：矢立地区のボランティア

帰りのドリル

5教科を毎日15分計画的に実施している。

イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携(安全)

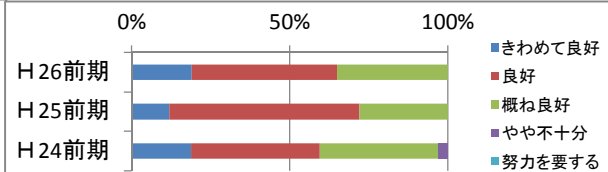
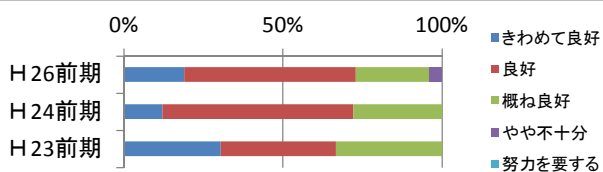
| 学校の状況 | | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|--|----|-------|---------|--|
| 地域や保護者と連携しながら、諸活動を通して、地域と共に歩み、地域に元気を与える学校づくりが推進されている。 | 前期 | 良好 | 良好 | 各種行事や菊祭りなど、地域との交流がはかられています。菊祭りなどの行事により、イベントが実施されることは、交流が深まると思います。学校行事については、統合により全て最後であり、意識しながら地域と連携し円滑に運営されており、PTA活動も活発に活動し元気な学校運営が見られた。 |
| 校自己改善評価の概要と学 | 年度 | | | |
| 【前期(一年度)】地域の力に支えられ、総合的な学習や行事、PTA活動などを通して学校経営目標の実現に向けて前進することができた。地域人材や素材を授業に生かすことについては2学期の菊プロジェクトや講演会の機会をいかして取り組んでいきたい。また、学校報等で情報発信するとともに、学年だよりでは家庭学習について学校と家庭の連携を図ることができた。さらにブログ等での素早い情報発信を行いたい。今後も地域の方々とともに、閉校を迎えても記憶に残る学校を目指して取り組んでいきたい。 | | | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B 前期 | 後期 |
|-------------------------|------------------------------|-------------------------|-------------|----|
| ⑪家庭・地域・小中学校との情報交換、教育力活用 | 学校報、学年だよりの充実 | 家庭学習の充実のための学年だよりの活用 | 4 | |
| | 地域と一体となった学校行事、PTA活動 学校支援地域本部 | 家庭学習の充実のための学年だよりの活用 | | |
| | 授業や総合的な学習の時間への積極的な活用 | 地域の人材の活用(歴史・文化・伝統芸能等) | | |
| | 各種アンケートや学校関係者評価の活用 | アンケートや学校評価の実施 評価を生かした改善 | | |

《保護者アンケート結果より》

・学校は、子どもたちの活動や学校の取り組みについて分かりやすく伝えていきますか。

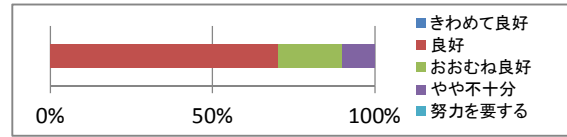
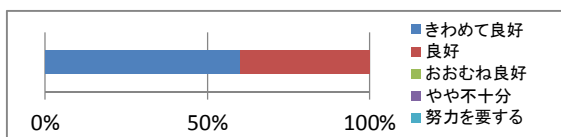
・学校は、保護者や地域の方の意見や要望を教育活動に生かすようにしていますか。



《教師アンケート結果より》

・保護者や地域の方々と一緒に活動できましたか。

・地域の人材や素材を授業に生かしましたか。



○各種アンケートに基づく学校評価の活用
各種結果をもとに、下のような2学期の具体的な改善策を共通理解し、実施しています。

- ・学習の約束の意識化、コの字型の机配置による表現力の育成
- ・教師間の情報共有の場の設定
- ・集会等での表現力育成の場の設定
- ・打合せを利用した上記取組の日常的な職員の意識化と改善

○地域の教育力の活用について

- ◇矢立峠散策(矢立自然友の会)
- ◇矢立地区講話(学校コーディネーター)
- ◇小中合同運動会
(小・中学生、地域でのフォークダンス)
- ◇酒漉し舞指導(1名) ◇矢中太鼓指導(1団体)
- ◇大北総体野球での地域応援団
- ◇PTAコーラス(合唱指導者、伴奏者)
- ◇菊プロジェクト
(大館菊の会 矢立地区民生委員協議会)